

# 大好き！絵本

初瀬 恵美



『おつきさまってどんなあじ?』  
絵・文：ミヒヤエル・グレイニェク  
訳：いずみちほこ  
出版社：セーラー出版

台風が過ぎ、少し秋の気配が感じられるようになりましたね。9月は一年のうちで、一番きれいに月を見ることができる季節といわれています。そこで、今月は『おつきさまってどんなあじ?』を紹介したいと思います。

「おつきさまってどんなあじなんだろう。あまいのかな。しょっぱいのかな。ほんのひとくち、たべてみたいね。どうぶつたちは、よる、おつきさまをみながら、いつもどうおもっていました。でも、どんなにくびや手や足をのばしても、おつきさまにはとどきません。」

そんな文章で始まるこの絵本。実は、この文章の前のページには、暗闇の中でお月様を見上げる動物の目だけが、描かれています。いろいろな想像力が働く、素敵な1ページです。

ある日、ちいさなカメが決心しました。いちばんたかいあの山にのぼって、おつきさまをかじってみよう。



そうして、カメは山のとっぺんまで行きましたが、残念ながら届きません。そこで、カメは大きなゾウを呼びました。ゾウの鼻が近づくと、お月様はひょいと上に逃げました。お月さまは新しいゲームだと思ったのです。そうしてキリン、シマウマ、ライオン、キツネなど次々に動物たちがお月さまに手を伸ばしますが、お月様はひょいと逃げてしまいます。でも、お月さまがゲームに飽きて、油断していた時、とうとうかじられてしまったのです。

さて、お月さまはどんな味がしたと思いますか？なんと、みんながそれぞれ、いちばん好きなもののあじがしたそうです。そして、その夜は、みんなでいっしょにねむりました。

とても、ほのぼのとして、心温まる絵本です。そして、この絵本の最後にはおもしろい「オチ」もあるですよ！ぜひ、読んでみてください。

私が初めてこの絵本に出会ったのは、「木のおもちゃ えるむの木」(帯山)のお店を訪れたときでした。まだ小さいわが子におすすめの絵本をたずねたところ、紹介して下さった一冊です。それ以来、すっかりお気に入りになりました。わが子だけでなく、保育園の子どもたちとも何回も繰り返し読んだ絵本です。

この絵本の魅力はやはり手にとって読んでみたときに視覚に飛び込んでくる、絵のタッチのやわらかさと、ドキドキワクワクするような文章、ほっとできる温かさなどだと思います。表紙のようなお月さまを見て「おつきさまってどんなあじなんだろう。あまいのかな。しょっぱいのかな。ほんのひとくち、たべてみたいね。」

と文章が始まれば、思わず「うん、うん」ってうなずいてしまいますよね(笑)ぜひ、月がきれいなこの時期に、お月さまを眺めたり、この絵本を楽しんでみてはいかがでしょうか。

\* 中秋の名月は 9月27日(日)です。晴れるといいですね(^^)

